

日本の縫製業を次世代に繋ぐ仕組みを構築 縫製技術・労働意欲の向上を積極的に支援

「縫製業は儲からない」という家業の縫製工場の実情から、「縫製職人の技術を守り、日本の縫製業を次世代につなぐ」という理念のもと、アパレル企画会社を設立した。在宅勤務を可能とする「マイホームアトリエ」制度を構築し、全国の縫製工場や、結婚や出産などを機に退職した潜在職人を発掘し、国内外有名ブランドから「小ロット高品質」に特化した縫製を受注し製造を手がけている。

- | | | | |
|----------|---|--------|-------|
| ● 所在地 | 奈良県北葛城郡上牧町桜ヶ丘1-8-5 | ● 設立 | 2016年 |
| | 松井ビル2-C | ● 資本金 | 100万円 |
| ● 電話/FAX | 0745-31-5156 / 0742-90-1116 | ● 従業員数 | 8人 |
| ● URL | https://valleymode.com/ | | |
| ● 代表者 | 代表社員 谷 英希 | | |



担い手確保

家業の経営資源を生かし後継者が新たなビジネスモデルを構築

社長は、家業の縫製工場の倒産危機や母親から「縫製工場は儲からないから会社は継がせられない」といわれたことから、日本の縫製業の厳しい現実を認識していた。しかし「日本の縫製業を次世代につなぐ」という意欲の高まりから、家業の縫製工場の営業部門をアパレル企画会社として別会社を設立した。同社が所在する地域だけでなく、全国において育児・介護などの制約があり引退していた縫製職人や女性が在宅でも仕事が続けられる仕組み「マイホームアトリエ」制度を構築した。



新たなビジネスモデルを構築した谷社長

ブランド企業と縫製職人のマッチングによる労働意欲向上

新事業開始前、日本国内では高い技術力を持つ縫製職人であっても安価な製品を縫製しているケースが多く、保有する縫製技術を十分に活かすことが困難な業界であった。同社では、高い技術力を必要とするトップアパレルブランド企業と高い縫製技術力を保有する職人を相応の対価でマッチングしている。職人が自身の技術を活かしながら相応の対価を受け取ることが可能となり、職人の労働意欲向上と地位向上が図られている。



高い技術と労働意欲を持つ同社の職人

ITツールを活用した全国の縫製職人への技術フォローの実現

同社では、未経験者でも裁断から縫製までの工程をOJTにより段階的に学習することで、一連の仕事ができる職人を育成している。また、外部の専門学校での技術習得も積極的に推奨しており、専門学校へ通学する場合、通勤時間の柔軟な調整を可能にしている。「マイホームアトリエ制度」は、仕事をする地域を限定しておらず、技術が身についたタイミングで結婚・出産・転勤等により、現場を離れざるを得なかった職人の職場復帰を容易なものにし、業務ブランクをできるだけ短くしている。また、ITツールの活用により、全国の縫製職人の技術フォローを実現している。



スカイプを活用した技術フォローの実施

ものづくり